

県とりそな財団

「いちおし」起『業プラン大賞」

将来性ある5人を表彰

県と埼玉のそな産業協力財団は16日、将来性のある事業プランを持つ企業家を表彰する2009年度「いちおし」『起』業プラン大賞」の優秀賞に、「あゆわり」(さいたま市)社長の榎本高行氏(36)ら4人と特別賞1人の計5人を選び、表彰した。

(三宅芳樹)

県創業・ベンチャー支援センターの相談者の中から選んだ。

榎本氏は08年9月、日本唯一の風景専門店「あゆわり」を設立し、美しい風景の絵画やDVDなどをインターネットを中心に販売する「風景ビジネス」を展開。「風景の感動を提供することで、環境問題に対する何かのアプローチになるのでは」と思い起業した。受賞は大変うれしく、身の引き締まる思い。今後も頑

張りたい」と喜びを語った。上田清司知事は「みなさんは独創性にあふれ、“大化け”する可能性を秘めている」、利根忠博理事長は「県内をリードする企業に成長してほしい」と期待を込めた。このほかの優秀賞は、子育て中の母親も無理なく働ける「在宅型派遣」を提唱した「コックト」(さいたま市)

社長の宮本直美氏(34)、安全・安心な分娩(ぶんべん)や「産後つづ」などの早期発見

を目的に2回の産後訪問を行っている「せくら助産院」(同市)代表の岡田美香氏(43)、細胞の働きなどを顕微鏡映像で見やすくした「タイムラプスビジョン」(朝霞市)社長の富田勉氏(49)。特別賞に、本人そっくりな人型ロボット開発などを手掛ける「リトルアイランド」(蕨市)社長の小池浩昭氏(44)が選ばれた。



「いちおし」『起』業プラン大賞の受賞者5人と上田知事(中央)、利根理事長(右端)16日、知事公館